

ミスベリング勉強会(10)

ミスベでつなく、観光まちづくりの取り組み

日時:令和2年1月15日(水)13:15~17:15
場所:さいたま市さいたま新都心合同庁舎2号館大研修室5A
参加者:36団体78人(民間12、大学4、自治体15、国等5)

1. RiverCycRingProject最初の取り組み
【関東地方整備局河川環境課課長 黒沼課長補佐】
2. 特別入賞プランの紹介
 - 1)『フラットサイクリング~平坦な道×気軽にふらっと~』
優秀賞3位、野田市長賞 【立教大学/漕いで埼玉】
 - 2)River Girls『River CycRing~花×乗り物~』
優秀賞2位、JTB賞 【跡見学園女子大学/村上ゼミ】
 - 3)さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験
観光庁長官賞 他2賞 【Open Street株式会社 工藤執行役員】
 - 4)『3CO-PLAN~あなたを癒す大きなハートOASIS WATARASE~』
【明治大学/木寺ゼミナール】
モニターツアー造成体験学習の取り組み状況(明治大)
【東武トップツアーズ 地域創生・自治体事業推進担当 望月副部長】
- 3-1. ミズベでつなく 観光まちづくりへの取り組み
【東武鉄道 経営企画本部 安齋課長補佐】
- 3-2. 防災施設でインフラツーリズム:首都圏外郭放水路の役割
【江戸川河川事務所 岩崎副所長】
国の防災施設を官民連携で世界一の観光資源に育てる
【東武トップツアーズ 地域創生・自治体事業推進担当 望月副部長】
- 3-3. 官民連携し隅田川を中心としたミズベを整備
北十間川や隅田公園で賑わい空間を創出
【墨田区都市整備部都市整備課 根岸課長補佐】
浅草・東京スカイツリーを結びエリアの回遊性向上
【東武鉄道 まちづくり推進統括部 塩谷主任】
4. 関係者意見交換会(取り組み状況や今後の期待等も紹介)
さいたま市、小山市、野田市、春日部市、関東地整河川部広域水管理官
跡見学園女子大学観光デザイン学科村上准教授、立教大学観光学科 西川助教



登壇者準備



前段:早川管理官、村上准教授、望月副部長、小山市浅見、野田市小倉、春日部市添田
後段: 工藤執行役員、西川助教 安齋補佐、塩谷主任、墨田区根岸、さいたま市井口

- 紹介:跡見学園・さいたま市:サイクルフェスタ発表、立教大・野田市:事業化準備
- ・シェアサイクルを導入しただけでは観光客は増えない。ちょっと行ってみようかなのハードルを下げるもの。観光客が行きたいコンテンツがあって、その移動手段や周遊性を高めるにあたってシェアサイクルは有効。
 - ・学生の人達には、コンテストの際は大人に好かれる提案をしがちだが、本当に自分達が良いと思ったものを提案すれば良いと思う。
 - ・野田市長と立教大学学生との懇談会では、市長からプラン実現に向けて頑張っ欲しいという話をされた。学生を主役として事業を始めて欲しい。
 - ・将来的には地元住民が主体となるので、主体となる人を巻き込んで計画づくりをしていきたい。小さく始め、観光客だけでなく、地元住民がこの場所を大切に思える空間としてとらえていただくことが重要。
 - ・計画に時間をかけてしっかり作成することが多いが、作成に時間をかけたことで、実施する段階で状況が変わり、使えなくなることがある。今後は、ある程度計画が作成されたら、とりあえず実施することが必要では。
 - ・今回、学生達からいただいたプランの実現性は非常に高いと思われる。予算については、銀行、クラウドファンディング、パークPFI等、いろいろ調達方法があるので武蔵野銀行としても協力したい。(参加者)
 - ・千葉銀行は、武蔵野銀行と連携して取り組める環境がある。銀行としても学生のアイデアを形にしていく協力をしていきたい。地元事業者が儲かるような仕組み、持続可能な仕組みとなるよう支援していきたい。(参加者)
 - ・鉄道やシェアサイクルでインフラがつながっていることが重要
 - ・観光だけではなく地域の活性化につながるものが必要だと感じた。
 - ・申請時に立派なものをつくるのではなく、関係者と意見交換しながら柔軟に進めていくことも必要になると思われる。そのため、河川管理者の意識も変えていく必要があるかもしれない。(早川広域水管理官)
 - ・参加して下さったみなさま、熱の入った講演と活発な議論をありがとうございました。

【明治大学/木寺ゼミナール】



【跡見学園女子大学/村上ゼミ】



【立教大学/漕いで埼玉】

